

In-Class Work Sheet 08 言葉を科学する：人間の再発見（思索と言語）

列番号 学生番号 _____ 名前（よみがな） _____

Class Work 8-1：自分の母語を客体化しよう

日本語を学習中のイギリス人 A さんが、以下のように言って嘆いています。

日本語では、どうしてモノを数えるときに複雑なやりかたをするの？本は「1冊2冊」、家は「1軒2軒」、車は「1台2台」、服は「1着2着」。犬は「1匹2匹」なのに、象は「1頭2頭」なんだって。皿は「1枚2枚」で、ビンは「1本2本」。細長いものを「～本」と数えるんだよ、とある日本人の友達が教えてくれたけど、このあいだ、映画も「1本2本」だって聞いて、もうわけがわからなくなった。発音も大変。猫は5「ヒキ」、2「ヒキ」かと思ったら、1「ピキ」、6「ピキ」という時もあるんだって。しかも、3「ビキ」ということもある。全部「1こ」「2こ」にすればいいのに。数を数えるだけなのに、どうしてわざわざこんなに複雑なことをするんだろう。日本人の頭は特殊なんだろうか？もういや！

A さんの日本語学習をどうやって励ましますか？できるだけ具体的に、勇気づけてあげて！

Post-class worksheet

今日の授業のポイントは？今日の授業で何を学んだか？何を考えるきっかけになったか？（ここに書くのは、みなさんの創造的「作品」です。自分がどのように理解したかを丁寧に書いて。ハンドアウトの項目をただ写すだけにはしない）

今日の授業全般に関してのコメント・質問（裏面を使って）